

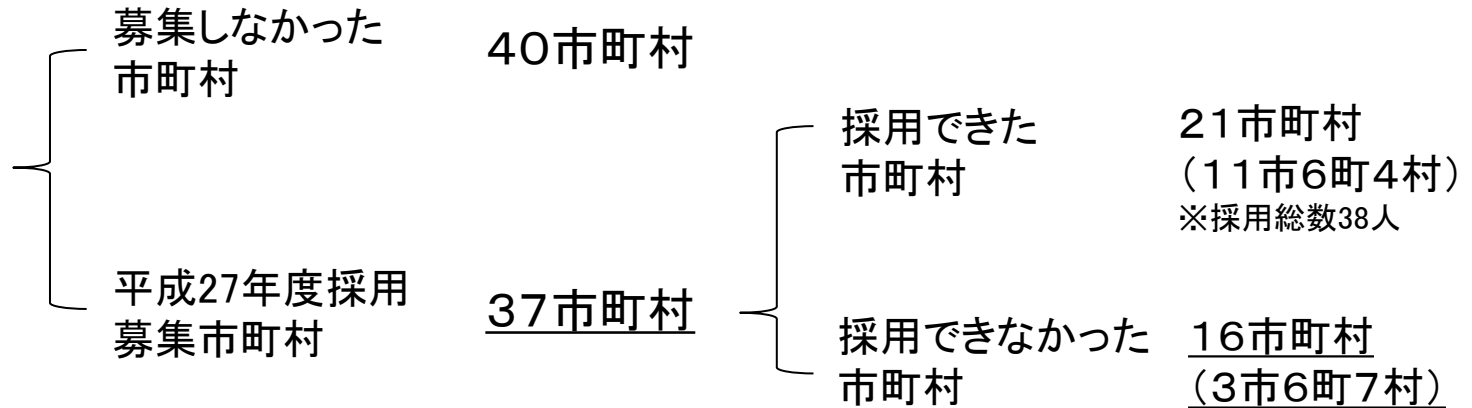
医療・保健・福祉等人材確保の現状と課題

- 県内市町村の保健師確保等の状況
- 県内における保育士確保等の状況
- 県養成校卒業者の県内就職状況等
- 県内における医師確保の状況
- 市町村との医療保健福祉等人材共同確保策の検討について

県内市町村の保健師確保等の状況

市町村保健師の充足状況

平成27年4月1日現在
健康福祉部調査

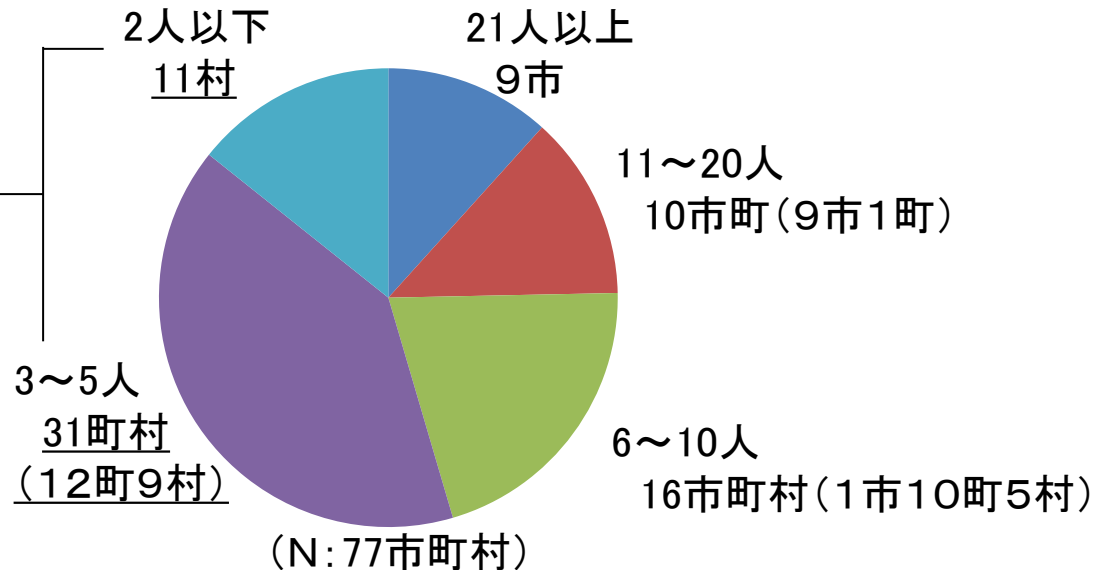


平成27年度採用に向け
37市町村で採用募集したが
16市町村では採用できなかった

市町村常勤保健師数

平成25年5月現在
保健師活動領域調査(厚生労働省)

42町村
(12町30村)
(54.5%)

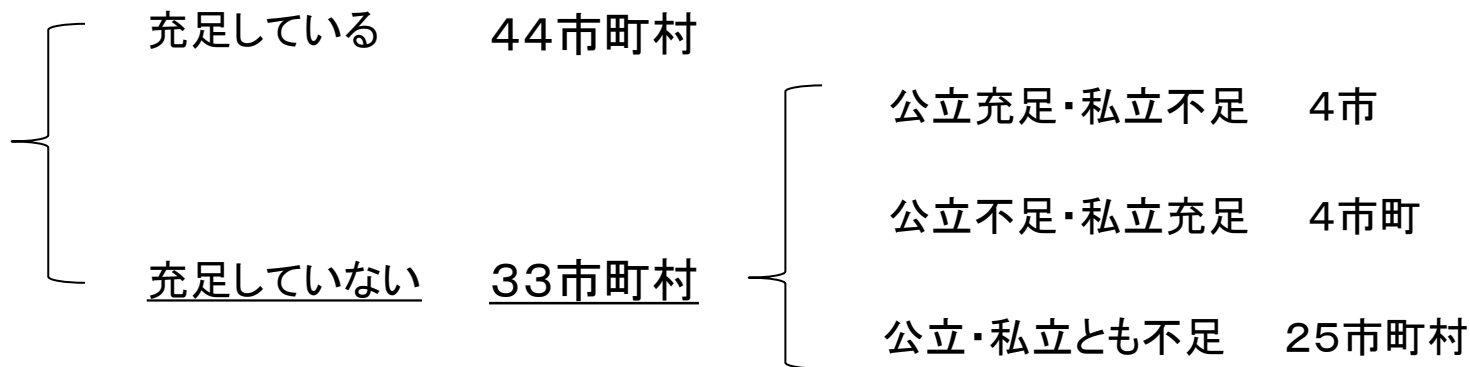


保健師2人以下の市町村が11町村
5人以下では42町村と過半数

県内における保育士確保等の状況

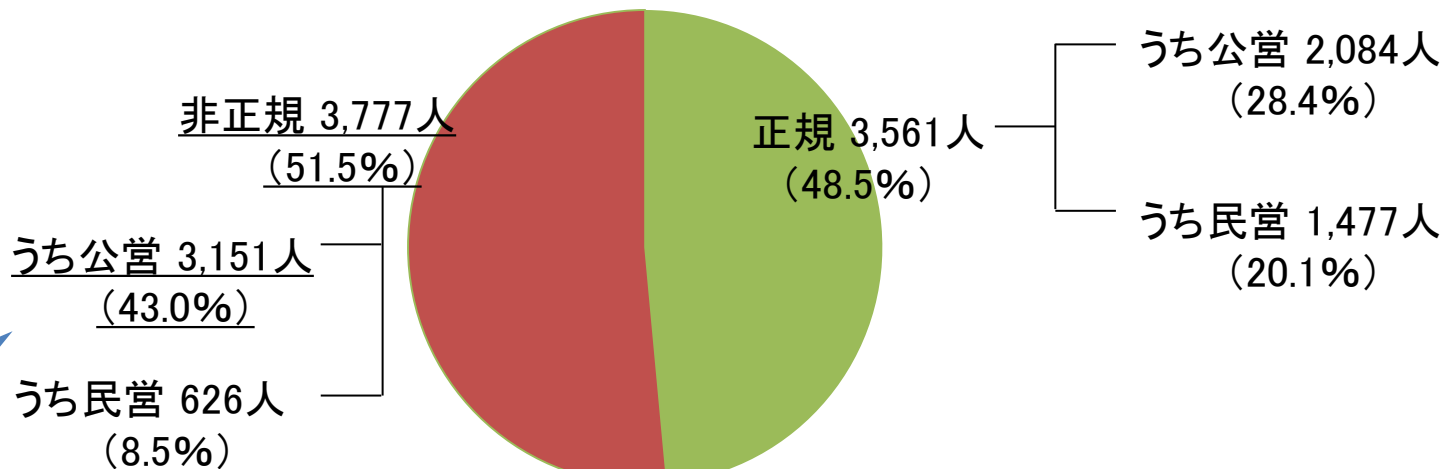
公立私立保育士の充足状況

平成27年4月1日現在
県民文化部調査



雇用形態別保育士数

平成26年4月現在
県民文化部調査



少子化傾向の中
正規の採用は少なく
非正規の割合が
高くなっている

N: 保育士総数7,338人

県養成校卒業者の県内就職状況等

保健師等養成

県看護大学

平成27年度
入学者 83人 うち県内出身者 54人 (65.1%)

平成26年度
卒業生 86人 うち県内就職者 45人 (52.3%)
県外就職者 34人
進学等 7人

県内看護師44人
県内保健師1人

保育士等養成

福祉大学校

平成27年度
入学者 70人 うち県内出身者 70人 (100.0%)

平成26年度
卒業生 63人 うち県内就職者 44人 (69.8%)
県外就職者 1人
進学等 18人

うち保育所
就職22人

(参 考) 看護師養成

須坂看護 専門学校

平成27年度
入学者 28人 うち県内出身者 26人 (92.9%)

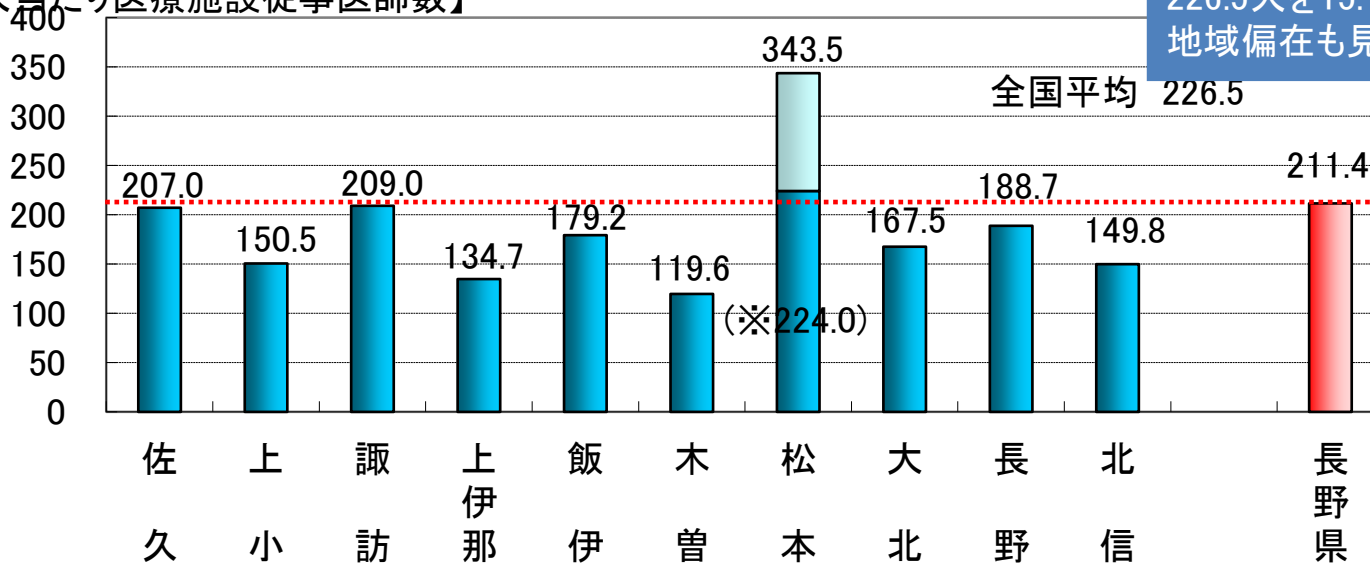
平成26年度
卒業生 34人 うち県内就職者 30人 (88.2%)
県外就職者 3人
進学等 1人

県内における医師確保の状況

平成24年12月31日現在の全国調査結果(厚労省)
(単位:人)

	全国	県合計	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信
【医師数】	288,850	4,508	440	301	423	253	299	36	1,478	103	1,038	137

【人口10万人当たり医療施設従事医師数】



県平均211.4人は全国平均の226.5人を15.1人下回っている
地域偏在も見られる

県の医師確保に関する取組状況

- ◇ ドクターバンク成約実績 ⇒ 全国3位、累計80件(H25.7他県調査)
- ◇ 医学生修学資金貸与者のうち勤務医師 ⇒ 平成27年度には3名、その後、徐々に増加し平成37年頃には約80人まで増加
- ◇ 県内での臨床研修1年目医師数 ⇒ H25:102人、H26:120人、H27:135人

市町村との医療保健福祉等人材共同確保策の検討について

目 的

市町村においては、医師、保健師、看護師、保育士など保健福祉分野の専門職種の採用が困難な状況。既に、佐久圏域においては、圏域町村と県、関係機関が連携した保健福祉等人材確保策の検討を始めている。これらの取組を全県に拡大していくため、県と市町村との協議の場においてWGを立ち上げ、医療保健福祉等専門職種の人材確保の情報交換や連携を進めるとともに、共同採用や人事情報の共有化策等を研究。

役 割

医師、保健師等
の確保

【健康福祉部】

市町村との
協議の場
WG

【県民文化部】

保育士等の確保

【企画振興部】

市町村との連携
(市長会・町村会)

進 む 方

平成27年度～28年度

○第1フェーズ

- ・市町村との協議の場において、「医療保健福祉等人材共同確保策検討WG(仮称)」を立ち上げ
→希望する市町村と専門職種の採用や人事情報を共有できる常設の場を設置（医師確保への取組も併せて検討）
→養成校等と県内外の人材確保の情報交換や連携を検討する場を設置



平成28年度以降

○第2フェーズ

- ・県、市町村、関係機関が連携し採用募集等を共同実施
- ・圏域内市町村等による採用手続の一部共同化等を検討

○第3フェーズ

- ・圏域内市町村等による採用手続の一部共同化等(試行)
- ・医療保健福祉等専門職種の共同採用、人事の一元化等を研究